

野口ひろあき 議会報告



家族の力になります

子育て・教育、暮らし、環境、地域経済 真剣に取り組みます。

野口ひろあきプロフィール

1957年11月5日生まれ 鳩ヶ谷小／鳩ヶ谷中／蕨高／上智大学文学部新聞学科卒 広告代理店勤務を経て現職

鳩ヶ谷市議(4期)、議長、監査委員、総務・予算・決算・環境センター問題調査特別・議会改革 各委員会委員長を歴任

川口市議(2期) 総務常任委員会委員長 都市機能・新庁舎建設特別委員会委員 議会運営委員会委員 自民党川口市議会議員団所属

川口法人会理事、鳩ヶ谷商工会理事、川口市空手道連盟副会長、鳩ヶ谷ロータリークラブ会員、学校法人松陰学園 みのり幼稚園事務長



平成29年度予算 総額3,883億4,456万円

一般会計1,916億2,000万円、特別会計1,580億6,656万円、水道186億8,400万円、病院199億7,400万円

去る2月24日から3月24日までの日程で、平成29年第1回川口市議会定例会が開催され、平成29年度の一般会計、特別会計、各企業会計予算を含む、市長提出議案46件、議員提案議案2件が可決・承認されました。

今回、原案通り可決された川口市の平成29年度各会計予算の総額は、3,883億4,456万円で史上最高規模。そのうち一般会計予算の総額は1,916億2,000万円で、28年度当初比54億円(2.9%)増。特別会計は12会計合計で対前年度比1.3%増の1,580億6,656万円。企業会計は病院、水道合わせて同じく2.8%増の386億5,800万円となっています。

一般会計の歳出部分で大きく増額したのは、民生費が対前年比31億784万円(3.7%)増、衛

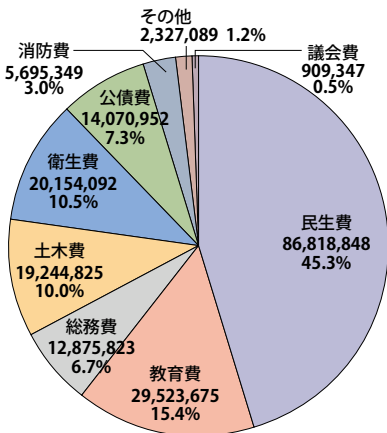
生費が同じく35億855万円(21.1%)増等です。その理由として民生費においては、保育所(園)の増設に伴う施設整備費・運営費、公立保育所の耐震改築費等の増高。及び生活困窮者・障害者・高齢者対策各種事業の拡充等によるものです。

平成29年度川口市予算総括表

(単位:千円)

Table with 5 columns: 会計名, 区分, 平成29年度 A, 平成28年度 B, 比較 (A-B) C, 増減率 C/B x 100%. Rows include 一般会計, 特別会計, 企業会計, and 合計.

平成29年度 一般会計予算 歳出款別内訳



(単位:円) ※その他: 商工費、農業費、労働費、諸支出金

また、衛生費においては、予防接種、各種検診、火葬施設整備事業、保健所準備事業、鳩ヶ谷衛生センター粗大ごみ分別場整備事業等が大きなものとなっています。

一方、教育費は対前年比11億2,600万円(3.7%)の減となっています。新市立高等学校建設関連事業費が大きくなウエイトを占めるものの、前年度までで小中学校教室へのエアコン設置、並びに校舎等の耐震改築・新築が終了したことによるものです。

川口駅、西川口駅 ホームドア整備1年前倒し

新年度予算に計上 平成31年度末までに設置へ

東日本旅客鉄道(JR東日本)は2月1日、川口駅、西川口駅を含む首都圏の30駅で、ホームドアの設置を当初よりも1年前倒しする方針を発表しました。これは、今年1月に京浜東北線蕨駅で、盲導犬を連れた川口市在住の視覚障害者が、ホームから転落、死亡するという痛ましい事故が発生し、各方面からホームドア早期設置の声がわき上がったことが背景にあります。

同社が実施するホームドア整備に対して、川口市では新年度予算に鉄道駅ホームドア整備費補助事業として、1,760万円を計上しました。対象駅は川口駅、西川口駅です。



SR南鳩ヶ谷駅のホームドア

## 危機管理指針を策定

### 防災ハンドブックも作成、市民配布へ

川口市ではこのほど、危機管理体制及び危機発生前から発生後における対策などを定めた「危機管理指針」を策定しました。大地震、台風、テロ、感染症等、市民の安全・安心を脅かす危機事象に対しては、行政と市民が共通認識を持ち対処することが重要であり、そのベースとなるのが、「危機管理指針」です。私・野口も昨年12月議会で、早期の策定を訴えさせて頂いたところ。さらに、新年度予算では、自然災害に対する備えとして、最新の防災学習コンテンツ等を掲載した「防災ハンドブック」を作成し、市民に配布するために、委託料3,138万円等が計上されています。

## 中核市移行へ向けて

今議会の総務常任委員会(野口宏明委員長)に「中核市の指定に係る申し出について」の議案が付託され、全員賛成で可決。今議会最終日の本会議においても賛成多数で可決されました。平成30年4月の中核市移行へ向けた今後の想定スケジュールは以下の通り。

平成29年4月	川口市長、埼玉県知事に対し「中核市指定に係る同意」を申し入れ
〃 6月	埼玉県知事、「中核市指定に係る申出の同意」議案を県議会に提出
〃 8月	県議会可決を受け、県知事は川口市長に「同意書」を交付。川口市長は総務大臣に「中核市指定を求める申し出」を行う
〃 11月	総務大臣、「川口市を中核市に指定する政令」を立案。閣議決定により政令公布
平成30年4月	川口市が中核市に移行

## 里土地区画整理事業

### 29年度末・進捗率76.0%、 残移転戸数253戸に

前議会での一般質問でも取り上げさせて頂いた里土地区画整理事業。合併後は一般会計からの繰り出し金も増額され、いよいよ事業として佳境に入ってきました。新年度予算では、里上青木線をはじめとする延長1,014mの街路整備工事、1号公園ほか面積1,615㎡の造成工事等、里事業区画整理事業費として8億9,413万円。その他都市計画費中に、里地区住宅市街地総合整備事業費として3億2,511万円など、積極的に予算計上がなされています。これを受け、平成29年度末の進捗率は76.0%、残移転戸数は253戸となる見込みです。

## バス高速輸送システム・ BRT※導入調査

川口市では、新年度予算に「バス高速輸送システム導入調査事業」として、1,031万円を計上しました。これは同システムの導入可能性を検討するため、接続バスの試走を行い、課題を検証するものです。



※:Bus Rapid Transitの頭文字を取ったもので、バスを基盤とした大量輸送システムのこと。

接続バス (参考資料)

## 医療センターに心臓外科開設 産婦人科も常勤医増員

本年4月から川口市医療センターに新たに心臓外科が開設されるとともに、産婦人科においても常勤医を増員するなど、高度な医療に対応できる診療体制の強化が図られます。今後は、一次医療はかかりつけ医が担い、かかりつけ医では対応困難な二次、三次医療の患者を積極的に受け入れる体制をさらに整備し、地域医療支援病院の基準要件を満たすべく、取り組んで行く方針です。

## 鳩ヶ谷武道場、鳩ヶ谷スポーツセンター等を避難所に追加

川口市では新年度より、現在89箇所ある災害時の避難所として、4施設を追加指定することになりました。新たに指定されるのは、芝スポーツセンター(芝高木2-12-52)、体育武道センター(西青木5-3-4)、鳩ヶ谷スポーツセンター(三ツ和3-21-1)、鳩ヶ谷武道場(鳩ヶ谷本町1-12-19)です。



鳩ヶ谷武道場

## 桜町小、里中 防球ネット嵩上げ工事完了

桜町小学校及び里中学校グラウンドの防球ネット嵩上げ工事が、このほど完了しました。両校ともグラウンドで球技を行う際に、ボールがネットを飛び越し、近隣住宅や車両に被害を及ぼすことがあり、学校、近隣住民、グラウンド使用者から、防球ネットを嵩上げしてほしい旨の要望が出されていました。



里中(左)、桜町小(右)に設置された防球ネット

## 里小、在家中に特別支援学級を開設

川口市教育委員会では、本年4月から特別支援学級を里小学校と在家中学校に、それぞれ新設することを決定しました。特別支援学級は現在、小学校では15校に、中学校では11校に設置されています。



今回、可決された平成29年度各予算中、  
鳩ヶ谷地域に関する主な事業を以下に紹介します。

## 河川整備事業

4億4,861万円

治水安全度及び河川環境の向上を図るものです。このうち、鳩ヶ谷地域関連は以下の通り ・永堀川整備事業(里) ・山王排水路遊歩道整備事業(八幡木3丁目ほか) ・南鳩ヶ谷1丁目地内水路整備事業 ・町屋原排水路整備事業(鳩ヶ谷本町4丁目) 他



永堀川整備事業・29年度は西公民館通りとの交差点部以西を実施予定

## 鳩ヶ谷衛生センター 粗大ごみ分別場整備事業

2億3,341万円

安全で安定した粗大ごみ受け入れ体制を構築するため、鳩ヶ谷衛生センター内に粗大ごみ分別場の整備を行うものです。

## 町会会館建築事業等補助金

3,900万円

コミュニティ活動の拠点である町会会館の新築及び修繕にかかる経費の一部を補助するものです。八幡木集会所、他

## 道路速度規制安全対策事業

1,205万円

生活道路における面的な速度規制により、歩行者の安全を確保するため、区画線等路面標示を行うものです。対象地域:南鳩ヶ谷7丁目及び飯塚1・2・3丁目区域を予定。

## (交通安全施設等整備事業費)

### 幹線第98号線歩道整備工事 三ツ和1丁目



幹線第98号線歩道整備・歩道の起伏を解消

## (道路改良事業費)

### 幹線第98号線道路改良工事 辻

## (道路橋りょう施設維持補修費)

### 幹線第96号線舗装改修工事 南鳩ヶ谷5丁目ほか 坂下2丁目第2ポンプ場電気設備改修工事 坂下2丁目 八幡木第1ポンプ場電気設備改修工事 八幡木2丁目 三ツ和第1ポンプ場ポンプ制御盤改修工事 三ツ和2丁目

## (公園維持工事費)

### だんだん公園照明灯設置工事 桜町4丁目



だんだん公園

## (市営住宅施設維持補修費)

### 前田住宅A・B棟給水管改修工事 南鳩ヶ谷8丁目 前田改良住宅J棟給水管改修工事 南鳩ヶ谷8丁目

## (公共下水道築造事業・荒川左岸南部雨水)

### 桜町排水区雨水管渠工事 桜町3丁目

## (浄配水場施設補修工事費)

### 鳩ヶ谷浄水場ポンプ補修工事 桜町4丁目

川口市鳩ヶ谷庁舎



# 野口ひろあきの一般質問

前号で掲載しきれなかった野口ひろあきの一般質問(前議会分)を以下に掲載させていただきます。

## 6. 消防団について

(質問) 桜町5丁目にある第10支団第1分団車庫、八幡木1丁目にある第11支団第2分団車庫は、他の団車庫に比べ大変狭隘なものとなっている。加えて、両車庫とも待機室やトイレが無く、第10支団の方は水道も無い状況である。命がけで市民の安全を守っている消防団員の方々に対し、申し訳ないことであると思うが、当局の見解は。

(答弁) 議員ご指摘の通り、両車庫ともトイレや待機室が未整備であり、優先して整備する必要があると考えている。関係部局と協議を行い、順次整備を進めて参りたい。

(感想) 29年度中には、環境整備が整うものと理解しました。



第11支団第2分団車庫

## 7. 地域の課題

### (1) 里土地区画整理事業の状況

#### ア. 進捗状況について

(質問) 里土地区画整理事業は数度の計画変更を経て、平成35年度の事業完了を目指して事業が進められている。事業開始以来、四半世紀を経過し、地権者・関係者も高齢化が進み、肉体的、精神的、金銭的、不安・不満が高じている。一方で合併後は、繰り出し金等の大幅増額等、市当局の配慮、関係者の不断の努力で、ようやく「第3コーナー」に差し掛かってきた。

そこで、現時点での事業量ベース、建物移転ベース、道路築造ベースそれぞれの進捗率についてお答え頂きたい。次に二点目として、共同化事業の状況。三点目として、里上青木線新橋の整備状況と見直しについてお知らせ頂きたい。

(答弁) 平成28年3月末現在で、事業量ベース:71.3%、建物移転戸数ベース:74.4%、道路築造ベース:52.7%となっている。共同化事業の状況は、平成27年度には4階建て17戸全ての入居が確定し、28年5月に建築工事が着工、29年1月末に竣工の予定である。里上青木線新橋の整備状況については、土地区画整理事業において新橋から里西通り線の間の道路築造、および街路事業として新橋の高欄や照明灯の整備をそれぞれ行っている。平成29年度においては、新橋から第二産業道路間の舗装工事を施工し、平成29年度中での開通を目指している。

(感想) 奥ノ木市長も「市内の各区画整理事業を加速する。」と明言されています。速やかな事業進捗を期待します。



工事が進む里上青木線。里地内から新橋方向を望む

#### イ. 市道幹線第108号線、埋設下水管撤去の問題

(質問) 市道幹線第108号線・通称旧鳩ヶ谷市民プール通りの下には、区画整理事業開始前より、下水の本管が埋設されており、事業進捗のネックとなっている。また、これを撤去するための費用は、10数億円にも上るとも聞いている。今後この問題をどのように処理、解決して行くのか、当局のお考えをお聞かせ頂きたい。

(答弁) 当該の下水道管については、既設管を撤去せずに換地の変更で対応が可能か、検討している。内容的には、現道の活用や公園等の公共用地とするなどを念頭に換地計画の見直しを進めている。案がまとまり次第、関係地権者の皆様に提案し、合意形成を図って行きたい。

(感想) 現在、区画整理事務所では対応案について、専門家(企業)と調査研究中とのこと。懸案事項の解決に向け、早期の合意形成を望みます。

#### ウ. 芝川左岸堤脚道路の問題

(質問) 境橋から里上青木線新橋までの芝川左岸、堤防下のいわゆる堤脚道路は、当初県が築造する計画であった。いつの間にか、当該事業は霧消し、堤脚道路も宙に浮いた形となっている。当該道路の計画が確定すれば、周辺の区画整理も一気に進むものとする。この堤脚道路の整備について、当局の考え、並びに見直しについてお知らせ頂きたい。

(答弁) 区画整理事業開始当時、県の道路築造計画に併せ、平成7年に仮換地の指定を行った。その後、県の計画が無くなり、平成12年に堤脚道路の築造については、許可及び費用については、市の負担とする覚え書きを交わしている。今後、堤脚道路の築造に向け、県及び関係部局と協議し、地権者の皆様が早期に移転できるよう努めて参りたい。

(感想) 事ここに至った原因は、当該箇所の県事業がいつの間にか雲散霧消してしまったことにもあるわけです。今後、市が整備するにせよ、県に対し、何らかの助成をお願いしても良いと思います。早期の解決を望みます。



芝川左岸堤脚道路予定地付近

#### エ. 仮称里運動公園整備の見直し

(質問) 里土地区画整理事務所の北から西へかけての一角が、(仮称)里運動公園用地であり、その面積は、約21,140㎡。ここに陸上トラックを備えた総合運動場を整備するという計画が合併前にあった。合併後は青木町に運動公園があることから、トラックの件は沙汰止みとなったと記憶している。鳩ヶ谷地域の市民からは、「体育館や室内プールを備えたスポーツセンターを」との声もある。(仮称)里運動公園整備構想がある公園予定地の今後の見直しについてお知らせ頂きたい。

(答弁) 当該の1号公園予定地については、2名の地権者の土地や工作物の移転が未完了となっている。また、中学校用地の代替となるテニスコート等も存在しており、全体の約3割の6,251㎡が公園として利用できない状況にある。今後は、さまざまな手法により事業の進捗を図り、公園の用地確保に努めて参りたい。

(感想) 区画整理全体の進捗を第一に、市民の要望も視野に入れつつ、事業の展開を図って頂きたいと考えます。

#### (2) 消防局鳩ヶ谷分署の沼田公園への移転について

(質問) 私は再三にわたり、旧鳩ヶ谷市民プール跡地・沼田公園の現状及び、有効活用について質問している。昨年12月の質問には、奥ノ木市長から「防災機能を持たせた公園に加えて、防災拠点としての機能をより一層強化する土地利用のあり方について検討している」とのご答弁を頂いている。老朽化の著しい市消防局鳩ヶ谷分署をここに移転すれば、まさしく防災拠点となり得るのではないかと、当局の見解を。

(答弁) 鳩ヶ谷分署の建物は耐震診断の結果、増築箇所に性能上問題があると認識している。同分署の建替え計画に当たっては、沼田公園も建設予定地の一つとして検討して参りたい。

(感想) 災害時、肝心の消防署施設に支障があつては、大変です。早期の沼田公園への移転を望みます。



旧鳩ヶ谷市民プール跡地

以上が私の一般質問です。感想として、非常に前向きで真摯な答えを頂きました。今後も奥ノ木市長の提唱する「弱いところに光を当てる」市政実現のために、力を合わせていきたいと思っております。

## 野口ひろあきが答えます。



携帯電話のQRコードリーダーで野口ひろあきのホームページにアクセスできます。

ご意見をお寄せください。下記の宛先を点線から切り離してご使用ください。

〒334-0003  
川口市坂下町2-6-18-106  
野口ひろあき事務所